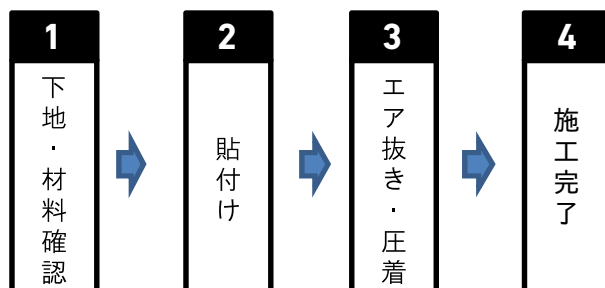


 施工前に施工要領書をよく読み、正しく施工してください。

## ■ 施工手順



## 1 マグフィットが使用できる下地

○	スチール面、ガラス面、黒板 プラスチックボード、ホワイトボード	※
△	布・ビニルクロス(壁紙)、 ※凹凸形状によりはがれる恐れもあります	
×	ベニヤ、石膏ボード、紙、レンガ、砂壁 モルタル、コンクリート	

※ 吸盤効果でつくため、施工面が平滑である必要があります。

○の場合でも凹凸や汚れのない状態に限ります。

## ! 施工可能環境

○	室内
×	屋外、浴室など水濡れがある場所、 直接火があたる場所、高温になる場所

## ! 材料確認

- 商品到着後、輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。中身を確認し速やかに使用してください。  
到着した中身はサンプル等で、依頼した材料と相違ないことを確認してください。
- 到着後は平坦な場所に横置きで保管してください。縦置き保管は、端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に取り扱わないでください。商品性質上、一度折れると元に戻りません。

## ! 施工時のご注意

- 施工前に反りや曲りを取るために平坦な所で平滑になるまで保管してください。  
反りや曲りがあると貼り付けた後に浮きが発生することがあります。
- 貼り付け面のホコリ、水分、油分等はきれいに拭き取って後、十分乾燥させてください。  
ホコリや汚れのある場所には貼り付けられません。シートが剥がれることがあります。

- 吸盤面に貼り付けてある保護フィルムを剥がして施工してください。
- 施工時に圧着させなければ、貼り直しが出来ませんが、シートを剥がす時に下地が剥がれることもありますので、事前に目立たない場所で確認してください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、はがれ、マーカーが消えなくなるなどの原因になります。
- 「ホワイトボードシート」のジョイントは突き付けで行えますが、シートが厚いため一般的な壁紙と比較してジョイント部分が目立ちます。市販のジョイナーなどで突き付け部を隠すことも参考にしてください。
- シートは厚みがあり重い(約1.6kg/m<sup>2</sup>)ので、施工は二人作業をお勧めします。
- シートの貼り方向は、施工面積や場所により、縦貼りか横貼りを選択してください。
- 施工現場の気温は、+5℃～+35℃の環境で施工してください。
- 廃棄処理は国および地方自治体の法令に従ってください。
- 用途以外の使用は避けてください。

## 2 施工

### 下地基材の表面処理

- ・シートの巻きぐせは貼る前に平坦なところに平滑になるまで置いて巻きぐせをとってください。
- ・シートが貼れる下地かをサンプルなどで確認してください。
- ・貼り付けできる下地でも、汚れ・ホコリ等の付着により、付かない・付きにくい場合がありますので、よく絞ったタオル等で清潔にしてください。
- ・下地が湿っている場合は、貼り付けできる下地でも付かない・付きにくい場合がありますので、完全に乾燥させてください。

### 貼付け

- ・貼り付ける場所に目印(基準線など)をつけてから作業すると貼りなおしせずに1回で施工できます。
- ・貼り始め側(目印をつけた側)の保護フィルムを一部をはがしてください。
- ・シート端部を仮止めし、目印にあわせてシートを貼ります。貼りながら保護フィルムをはがしてください。
- ・シート貼り始まり側は仮止めするか作業者が押さえる事を推奨します。
- ・シート終端側の貼付け時は、シートがまくれて折れる事に注意してください。
- ・貼り位置がずれた場合は、静かにシートをはがして、再度目印位置から貼ってください。
- ・シートは複数回貼りなおしが出来ます。裏面が汚れて吸着力が低下したときは、水で濡らした布で吸着面を拭いてください。よく乾かした後、吸着力が元に戻ります。

### エア抜き・圧着

- ・軽く撫でながら、空気をシート中心部から外側に追い出すように抜いていきます。
- ・貼り始めの下地との接着力は軽いですが、時間とともに接着力が大きくなります。
- ・圧着して時間が経ってから、シートをはがすときは、下地素材を傷める場合があります。



シート表面材質のフィルム特性から、折り曲げると修復できません。

まくれ、折れには十分注意してください。

### 施工終了

- ・施工後、きれいな乾いた布でシート表面をふいてください。

### 3 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のために立てかけはご遠慮ください。横置きまたは専用段ボール箱に入れてください。
- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境によってははがれなくことがありますのでご注意ください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。シート表面を傷つけると凹部にマーカーペンのインクが入り込み汚れて消せなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、よく絞り、シート全面を水拭きしてください。次に乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。  
市販のホワイトボードクリーナーでの清掃もお勧めします。
- シート表面が滑りやすいため、マグネット取り付け物の落下に十分ご注意ください。